



みんなのできる 地球温暖化防止活動

— あいづめぐるフェスタを、みんなで企画開催しています!!! —

※マークは県の地球環境保全のキャラクターです

福島県地球温暖化防止活動推進センター

事務局長 鈴木和隆

(特定非営利活動法人うつくしまNPOネットワーク)

■ヴィーガン料理

特技は料理という会津坂下町の佐藤涼子さんに、得意な料理はお聞きしたら「ヴィーガン料理です。動物性食材を一切使用しません。野菜は自家栽培のものか、無農薬栽培の農家から分けてもらいます。添加物は使用せず、天然醸造の調味料を使います」。

昔と比べると夏の暑さは過酷になり、雪の降る時期も遅くなっていることに「この先の地球を良くするために何か行動を起こしたい」という思いで、2019年に福島県地球温暖化防止活動推進員になりました。

■あいづめぐるフェスタ

西会津町のエシカルマルシェに行った時に「自分の町でもやりたい」と思い、同じ推進員の仲間と準備を始めたと言います。「まちづくり活動応援補助金」を申請し、2022年11月13日に第1回目を開催しました。「役場の担当者、会場の方などと何度も打ち合わ

せしました。イベントを主催するのも、補助金を申請するのも初めてのことで、消防署や保健所へ提出する様々な書類に追われました」。

■笹の葉をお皿にして

第4回あいづめぐるフェスタは、2025年11月22日「道の駅あいづ湯川・会津坂下」で開催されました。テーマは「私たちが選ぶ日々の暮らし手にとるモノ触れるモノ」。「ばんげ食育フェスタ」も同日開催でした。「新米振る舞いとしてお結びを提供した際には、使い捨て器をやめて、笹の葉をお皿に使用しました」。受け取った来場者からは、笹の香りもして、ごみにもならず素晴らしいという声をいただけましたようです。

■みんなのできる地球温暖化防止活動

「人間は自然の一部です。自分たちが心地良く暮らすためには、自分たちが生きている地球を心地良くすることです」。恵隆寺の隣にある旧五十嵐家住宅付近から会津磐梯山の眺めは「とてもきれいな景色です。自分＝地球と思えば、自分の体を痛めつけることはできないと思います」。

物事の本質を見抜くこと、政治にも関心を持つこと、便利さの背後にある環境問題をきちっと凝視すること、そして行動力が未来を素晴らしいものにします、と話をまとめくれました。

(Web) <http://fukushima-ondankaboushi.org/>